イノッチのシェアリングネイチャー　ＮＯ152-164　　2021.6.25

〈巻きひげの不思議〉

　ゴーヤがどんどん伸び始め、巻きひげがネット代わりの金網に絡みついていた。巻きひげをよく見ると、まるでロープ結びの達人が結んだかのような見事な腕前だ。三重に巻きつくことで強度が増すことも学習済みなのか？？？しかも、ただ絡みつくだけでもすごいのに、バネの様にクルクル巻きになっていて伸び縮みまでする仕組みになっている。初めは長い一本の蔓だけだったのに、いつどうやってこのクルクル巻きが出来上がるのだろう。不思議でならない。まだ金網に届いてない蔓を少しの間観察したが、そんな短時間では巻き上がるわけもない。諦めて写真だけ撮ることにし続きは家で調べることにした。運よく動画があって巻きつく様子が早送りで簡単に見られた。伸びた蔓は、カウボーイの投げ縄の様にクルクル回りながら近くにあるネットや棒に絡みつく。先端がしっかり固定出来たら、今度はクルクルとバネの様に蔓が巻かれていく。その一連の動きを見ていると、まるで蔓に意思があるかのようで植物であることを忘れてしまいそうだ。この巻きひげに支えられ、今年もたくさんのゴーヤがぶら下がるはず。巻きひげパワー恐るべし！

　巻きつく仕組みやバネ状になる仕組みは解明されているのだろが、自立せずに他に絡みつき巻きついて自らを安定させる蔓性植物たち、そのしたたかな生きざまには脱帽だ。芯は弱くても蔓という武器を持って生き残ろうとする戦法は、弱者故の大いなる知恵か？